

〈第5回〉白山4町内愛育会「お月見おはなし会と花火の会」 育成会会長 桑本陽子

場所：白山2丁目公園 参加人数 子ども19名、大人16名

10月3日土曜日、中秋の名月の名残を楽しむお月見の会を開催致しました。また今年の夏はコロナ禍で夏祭りや花火大会がなかったので、やり残した夏の思い出作りにと花火も重ねて行うことにしました。

早く集まってくれた子ども達には、牛乳パックランタンに絵を描いてもらいました。ランタンにあかりを灯し、お花を飾れば、おはなし会の会場が出来上がりです。

あっという間に素敵なイラストを書きあげる子ども達の創造力に感心しました。



牛乳パックランタン



お月見会の花

お月見会の雰囲気が盛り上がりました

おはなし会では絵本1冊（おつきみどろぼう）、紙芝居1冊（かぐや姫）を読みました。特に“かぐや姫”の紙芝居は急遽お願いしたにも関わらず、高学年と低学年の女の子3名が上手に読み聞かせをしてくれました。

低学年の子を上手にフォローしながら読み上げてくれたお姉さん達。温かい気持ちになりました。

秋のお花の紹介もしました。秋の七草のうち、尾花（すすき）と藤袴は飾ることができたので、みんなにも覚えてもらえたかもしれません。



子ども3人による”かぐや姫”の読み聞かせ



お月見おはなし会

(お母さんによる読み聞かせ)

おはなし会の後は沢山の花火を楽しみました。最初は慎重に花火に火をつけていましたが、最後は豪快に数本持ちや線香花火対決などで盛り上がりました。



楽しかったみんなでの花火の会



本当はお月見団子をみんなで作ったりしたかったのですが、今回は我慢して子ども達にはカップ入りみたらし団子をお土産にして、ご自宅で味わってもらいました。



秋の花も気に入った物を少しづつ持ち帰ってもらい、お家でも余韻を楽しんで頂きました。



今回は感染予防のため

屋外での開催、皆での飲食は控える、マスク着用、手指の消毒などに配慮して企画しました。



屋外での活動はどうしても天気に左右され、ハラハラもしますが、会終了後も夜の公園で元気に走り回る子ども達を見て、場所があり、人が集えばそれだけでいきいき楽しめる事を実感しました。無事開催できて本当によかったです。

地域や保護者の皆さんに感謝します。



事務局から

事務局長 白石和典

1 お忙しい中、活動の原稿・素晴らしい写真有り難うございました。

日本古来の月見という風流な行事を、子ども会で月に関する絵本と紙芝居で読み聞かせをするという取り組みをされました。昔であればそこで歌人が和歌を詠む。現代の子どもは絵本や紙芝居を鑑賞する。なんと優雅なことでしょう。しかも、そこには柔らかい光の手作りランタンがあり、ススキなどを交えた秋の花も飾ってあります。その場にふさわしい環境を整えての実施は出来そうでなかなか出来るものではありません。趣のある取り組みに感銘を受けました。

2 活動を行うには育成者の支援が欠かせませんが、準備やランタン作りに子どもたちも関わり、紙芝居の読み聞かせを高学年の子どもと低学年の子ども3人で行ったのも素晴らしいと思います。

低学年の子を高学年の子が上手くフォローする。そんな姿を子ども会活動では望んでいます。異年齢集団での活動の意義はそこにもあります。本人たちだけでなく周りにいる全ての人が温かい気持ちになったことでしょう。子どもたちは素晴らしい体験が出来ましたね。

もう一方の絵本の読み聞かせは大人（お母さん）が行いましたが、このこともとても大切なことです。「大人はこんなに上手なんだ。私もあんなになりたいな。」という憧れを子どもたちが持つことでしょう。こんな形で大人と子どもの「出番」があったことが素晴らしいのです。

3 花火の会も、個人の家でするよりも、皆でする方がより楽しいと思います。子ども会活動の良さだと思います。広いところだと今回のように吹き上げ花火も楽しむことが出来ます。

4 コロナウイルス感染防止対策を図りながらの活動であり、目には見えないところでいろいろなお苦勞もされたと思いますが、桑本会長さんの「人が集えばそれだけでいきいき楽しめる事を実感」の言葉に集約されるように素晴らしい実践でした。本当に地域や保護者の皆さんに感謝ですね。

お疲れ様でした。なお、以後の子ども会活動も是非HPで紹介させて頂きたいと思います。

貴愛育会の益々の発展と子どもたちの成長をお祈りいたします。